

授業特別協力者(ゲストスピーカー)報告書

テーマ : なぜ「外国人ホームレス」が増えているのか？
移民・難民の支援現場での調査と実践から社会を変えていく

授業特別協力者名 : 大澤 優真 氏

実施日時 : 2024 年 7 月 9 日(火) 2 時限

担当教員名 : 舟木 律子

授業科目名 : 演習 I

履修者数 : 9 名

実施結果

一般社団法人つくろい東京ファンドと NPO 法人北関東医療相談会の大澤優真氏から「生きていけない・追いつめられる難民・在留資格のない外国人-」というテーマで講演いただいた。

「移民社会としての日本」という本ゼミのテーマとの関連でいえば、もっとも脆弱な立場に置かれた外国人のうち、以下の二つのカテゴリーの人々が直面する現状の実態報告がなされた。

なお、二つのカテゴリーとは、(A)「仮放免」状態に置かれている人々＝在留資格が認められておらず、入管法により入管施設に収容された者のうち、病気その他やむを得ない事情がある場合に、一時的に「入管」外で生活することが認められた状態にあり、何らかの理由により帰国できない人々と、(B)「入国まもない難民認定申請者」である。

いずれの状況においても、就労が認められておらず、社会保障制度も認められていないため、手持ちの現金が尽きた時点で、「生きていけない」(働けない・食べられない・病院に行けない・家賃払えない)事態に追い込まれる。

大澤氏の講演では、このような人々について、以下の3点で詳しい説明がなされた。

- ①日々の活動で実際に大澤氏が支援に関わった方たちの具体的な状況
- ②仮放免者調査の結果概要と国連勧告について
- ③世界で急増する難民と日本の難民受け入れ体制・実態について

学生からも活発な質問があり、日本が世界に遅れをとるグローバルな課題への貢献のあり方について、現状を知り、考えるための貴重な学びの機会となった。